

**宮中晩餐会における
インドネシア共和国大統領ご挨拶**

天皇陛下、皇后陛下

ご来賓の皆様方

本日、私と妻は、天皇皇后両陛下に再会することができ、神に心より感謝いたしております。本日の晩餐会は、大変暖かく、友好的なもので、とてもうれしく思っております。

また、この場をお借りいたしまして、私と妻、そして随員一行に対する両陛下からの暖かいおもてなしに心より感謝申し上げます。

天皇陛下、皇后陛下

ご来賓の皆様方

私の今回の訪日は2005年6月に続き、2度目となります。私はこの2度目の訪問を通じ、より強い両国の親密な関係を実感しております。また、今回の訪日後もインドネシアと日本との関係が更に緊密になっていくものと信じております。インドネシア国民は、日本国民の献身的な努力や、熱意、勤勉さに対し、また伝統文化の継承に力を注がれていることに対し、尊敬の念を抱いております。インドネシアにとりまして日本は非常に重要なパートナーであり、インド

ネシアの開発及び発展において、大きく寄与していただいているところであります。また、日本はインドネシアにとって、主な貿易相手国で、最大の投資国でございます。

現在、日本で学んでいるインドネシアの国民が大勢おります。また、北スマトラのアチェ、及び中部ジャワとジョグジャカルタにおける大地震や津波等の自然災害に対し、日本政府および日本国民の皆様より頂いた様々なご支援をインドネシア国民は決して忘れません。私たち、インドネシア国民は、天皇陛下および日本国民のご厚意に対しまして、心から感謝申し上げます。

来る 2008 年には、日本とインドネシアは国交樹立 50 周年を迎えます。私たちは過去から多くを学び、互いに対等に尊重しあうことで希望ある未来を築くことができると信じます。

インドネシアは、アジア地域での日本の役割を非常に重要視しております。日本は、アジアで最も大きな経済発展を遂げており、国民は活動的で、世界の平和と安定に積極的に貢献されております。

インドネシアと日本両国の発展は、強い パートナーシップの中で相互補完関係にあります。強固な両国のパートナーシップがアジア地域の平和と安定に寄与するものと考えます。

天皇陛下、皇后陛下

ご来賓の皆様方

美しく爽やかな秋の空の下、我々は、今回の訪日を非常に楽しんでおります。更に、両陛下におかれましては、皇孫としては初めての親王がお生まれになられたばかりということで、我々にとりましても今回の訪日が特別なもの感じられます。私と妻、そしてインドネシア全国民の名におきまして、去る 9 月にお生まれになりました親王殿下のご誕生に対しまして、心からのお祝いを申し上げますたいと存じます。親王殿下のご健勝とご安寧を祈念いたします。また、皇室の末永い継承と日本国民の皆様のご更なるご繁栄をお祈り申し上げます。

この場をお借りいたしまして、今一度、天皇陛下、皇后陛下、そして日本国民の皆様から我々随員一行が頂いたご厚情に対し、心よりお礼申し上げます。両陛下のご更なるご健勝とご多幸をお祈り致しますと共に日本国民の皆様のご平和と繁栄を祈念致します。

最後になりますが、両陛下とご来賓の皆様方のご健勝とご多幸、日本国民の皆様のご発展とご繁栄、更には両国の一層の友好と協力を願って、乾杯を致したいと存じます。

ご清聴有り難うございました。